

●学部・学科別のディプロマポリシー

・ 学士課程共通

名古屋市立大学では、市民によって支えられる市民のための大学として、地域社会や国際社会の発展に貢献し、社会全体の幸福の実現や持続可能な社会の構築に資する優れた人材を育成するという教育上の目的に鑑み、個性を認識し自らの立場を自覚したうえで人生の様々な局面において自ら活路を見出すための思考基盤となる教養を修得し、次世代をリードできる優れたバランス感覚と上質かつ豊かな感性で社会と向き合う力を身につけ、所定の単位を修得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、学位を授与します。

・ 医学部医学科

医学部では、人間味にあふれ、深い医学知識と技術を備えた医師を養成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(医学)の学位を授与します。

本学医学部学生が卒業時点において身につけているべき能力を 4 領域に分けて示す。

1 科学者としての医師

- ヒトの正常な構造、機能、行動および疾病の病因・病態を理解、研究し、医学の発展に貢献することができる。
- 臨床データや文献等の情報を吟味し、その妥当性や適用の有無を決定することができる。
- 重要な医学的知見や医療情報を、さまざまな立場の人に対し適切に説明、発表することができる。
- 科学的知識や科学的理解の限界を認識し、全ての科学的知見は常に更新される性質のものであることを理解できる。

2 臨床家としての医師

- 患者・医師関係の意義を理解し、良好な関係を築くことができる。
- 医療面接や系統的な身体診察によって臨床所見や兆候を捉え、それらを解釈し、適切な検査や治療法を選択できる。
- 基本的な臨床手技を行うことができる。
- 医療情報の記録、管理を適切に行うことができる。
- 医療における安全性を理解し、適切な危機管理ができる。

3 社会における医師

- 様々な生活環境や国および世界の健康、疾病の動向を評価し、対処できる。

- 個人および集団の健康を規定する因子を考察し、健康増進、疾病予防の方策を立案できる。
- 保健、医療、福祉に関する法や制度を社会的動向の中で理解し、活用することができる。
- 多職種連携による地域包括ケアシステムの構築に貢献できる。

4 プロフェッショナルとしての医師

- プロフェッショナルとして人間愛と倫理性に溢れ、かつ冷静な行動をとることができる。
- 多職種と協調して行動し、必要な時にリーダーシップを発揮することができる。
- 自分の身体的、精神的状況を把握し、ストレスに適切に対応して、必要な時には率直に支援を求めることができる。
- 継続的に自身の医学知識、医療技術の向上に務めることができる。

・薬学部薬学科

薬学科では、医療や科学の高度化に対応できる基礎学力と問題解決能力、国際化する社会で活躍できる能力を有し、薬剤師として必要な知識・技能と医療人としてふさわしい自覚・態度・倫理観を身につけ、人類の健康と福祉の発展に貢献できる人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(薬学)の学位を授与します。

1 薬学についての基礎能力

- 生体及び環境等に対する医薬品や化学物質の影響を理解するために必要な代表的な構造、反応、分離法等の科学的知識を有し、それらを臨床現場で活用できる基礎能力を有する。
- 薬物療法を主体的に計画・実施・評価して個々の患者に適したより効果的で安全な医薬品の使用を推進・指導できる基本的な知識・技能を有し、それを実践できる基礎能力を有する。
- 社会において薬剤師が果たすべき責任、義務などを正しく理解し、薬学ならびに医療に必要な法律、制度、経済等に関する基本的な知識を身につけている。
- 薬学・医療の進歩と改善に貢献する研究マインドを持ち、研究を遂行する基礎能力を有する。

2 社会人・国際人としての基礎能力

- 適切に情報を収集し円滑な意思疎通を行うことができるコミュニケーション能力とともに、有益な情報を人々に提供できるプレゼンテーション能力

ョンの基礎能力を有する。

- ・ グローバルな視野、視点を有し、国際化する社会で活躍できる基礎的な言語力、表現力を有する。

3 医療人としての基礎能力と態度

- ・ 薬学の専門分野に限らず、人文科学、社会科学、自然科学等、広く各分野について総合的・積極的に学修し、自ら新たな課題に取り組む態度を身につけている。
- ・ 医療の担い手として必要な義務および法令を遵守するとともに、医療に貢献する高い使命感、責任感および倫理観を身につけている。
- ・ チーム医療に貢献するための臨床における実践的能力と強い意志を身につけている。
- ・ 卒業後も生涯に渡って自らの知識・技能について研鑽し続ける態度を身につけている。
- ・ 自らが修得した専門的な知識を広く伝え教育することで、次世代を担う人材を育成する意欲を持つ。

・ 薬学部生命薬科学科

生命薬科学科では、医療や科学の高度化に対応できる基礎学力と問題解決能力、国際化する社会で活躍できる能力を有し、創薬科学および生命科学に関する総合的な知識と技術、生命や健康を扱う社会人としての自覚・態度・倫理観を身につけ、人類の健康と福祉の発展に貢献できる人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(薬科学)の学位を授与します。

1 薬学についての基礎能力

・ 医薬品および化学物質の基本的な反応性を理解するため、代表的な構造、反応、分離法等の基本的な知識、技術を身につけ、それらを説明、実施できる基礎能力を有する。

・ 創薬科学、生命科学の基礎から先端技術まで幅広く理解し、基礎薬学研究や医薬品創出を目指した研究・開発に取り組むために必要な創造的思考力と実験技術の基礎能力を有する。

・ 生命現象を科学の目で捉え、理解し、分析する基礎能力を有する。

2 社会人・国際人としての基礎能力

- ・ 適切に情報を収集し円滑な意思疎通を行うことができるコミュニケーション能力とともに、研究遂行に必要な討論とプレゼンテーションの基礎能力を有する。

- グローバルな視野、視点を有し、国際化する社会で活躍できる基礎的な言語力、表現力を有する。

3 薬学研究者としての基礎能力と態度

- 創薬科学、生命科学の専門分野に限らず、人文科学、社会科学、自然科学等、広く各分野について総合的・積極的に学修し、自ら新たな課題に取り組む態度を身につけている。
- 生命や健康を扱う研究者、社会人としての自覚・態度・高い倫理観を身につけている。
- 主体的に研究を遂行し、自ら設定した目標に対し、常に客観的に評価、検証する態度を身につけている。
- 卒業後も自らの知識・技能について研鑽し続ける態度を身につけている。
- 自らの修得した科学的な知識を広く伝え教育することで、次世代を担う人材を育成する意欲を持つ。

・経済学部公共政策学科

経済学部公共政策学科では、幅広く深い教養と豊かな人間性を身に付け、経済学と経営学の諸理論に精通し、経済・経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような地域の経済・経営を支える人材を養成するという経済学部の教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(経済学)の学位を授与します。

1 知識・理解

- (1) ミクロ経済学、マクロ経済学などの基礎的な知識を修得し、それを用いて財政、金融、国際経済の分野を理解することができる。
- (2) そのうえで、さまざまな応用分野について広く学ぶことにより、グローバル化が進む中での地域社会の課題を分析することができる。

2 汎用的技能

社会の課題について、市場経済の働きを十分理解した上で、自ら分析・検討できる能力を身につけている。

3 態度・志向性

- (1) 自ら課題を発見し、解決しようとする行動ができる。
- (2) 地域社会の発展のために貢献できる。

4 統合的な学修経験と創造的思考力

経済学だけでなく、経営学、会計学、ファイナンスなどの隣接分野を広く学修することにより、総合的に課題を解決できる。

・経済学部マネジメントシステム学科

経済学部マネジメントシステム学科では、幅広く深い教養と豊かな人間性を身に付け、経済学と経営学の諸理論に精通し、経済・経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような地域の経済・経営を支える人材を養成するという経済学部の教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(経営学)の学位を授与します。

1 知識・理解

- (1) 経営学の知識とともに、企業を取り巻く制度や歴史の知識を修得している。
- (2) 現代における企業の経営課題、各国・各地域の経済・経営の特性や動態を理解している。

2 汎用的技能

企業を中心とする諸組織の経営課題や経済・行政の政策課題について、経営学ならびに経済社会の制度的多様性や歴史的変容の理解を基礎として、自ら分析・検討できる能力を身に付けている。

3 態度・志向性

- (1) 自ら課題を発見し、解決しようとする行動ができる。
- (2) 地域社会の発展のために貢献できる。

4 統合的な学修経験と創造的思考力

経済学、会計学、ファイナンスなどの隣接分野をも広く学修することにより、総合的に課題を解決できる。

・経済学部会計ファイナンス学科

経済学部会計ファイナンス学科では、幅広く深い教養と豊かな人間性を身に付け、経済学と経営学の諸理論に精通し、経済・経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような地域の経済・経営を支える人材を養成するという経済学部の教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(経営学)の学位を授与します。

1 知識・理解

- (1) 会計分野、ファイナンス・情報分野の基礎的な知識を幅広く修得し、それを用いて、企業会計やファイナンスとそれらに関連する統計的・数量的方法を理解することができる。
- (2) そのうえで、さまざまな応用分野について深く学ぶことにより、会計・フ

ファイナンスの専門的な立場から、直面する課題を解決することができる。

2 汎用的技能

会計・ファイナンス・金融工学や関連する統計的・数量的手法を体系的に理解し、それらを実践に結び付けることができる能力を身につけている。

3 態度・志向性

(1)自ら課題を発見し、実践的な解を提示しようとする行動する。

(2)会計・ファイナンスの専門領域について自己研鑽に励むことができる。

(3)地域社会の発展のために貢献できる。

4 統合的な学修経験と創造的思考力

会計学やファイナンスだけではなく、経済学、経営学などの隣接分野を広く学修することにより、総合的に課題を解決できる。

・人文社会学部（学部共通）

人文社会学部では、

1. 私たちの望む未来のために、今日の人間、社会、文化に関わる諸課題を人文科学・社会科学の視点から研究し、それらに分野横断的に取り組み、持続可能な社会の形成に貢献できる人
2. 現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を多面的に考察し、他者と協働しながら実践的に解決していく知を身につけた人
3. 多文化共生社会の実現に向けて、自らの意見や感情を他者に伝える技法、他者のそれに傾聴する態度を備えるとともに、対外的に発表・討論する能力やそれらを文章としてまとめる構想・表現力を身につけた人を育成するというを目的とします。

この目的を達成するため「自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの『持続可能な生き方/あり方』を捉え直す教育」(ESD)を統一的教育理念として、心理教育学科、現代社会学科、国際文化学科を設置し、各学科の専門性に応じた教育課程を編成・実施します。学科ごとに以下に挙げる能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(人文社会)の学位を授与します。

・人文社会学部心理教育学科

1 知識・理解

心理学・教育学を基礎として、人間の多様性、生涯発達および子どもの育成支援について十分に理解できる。

2 汎用的技能

人の理解や保育/教育、生涯発達と環境に関わる諸理論、心理・教育の技法を、心理・保育・教育の現場で応用できる。

3 態度・志向性

健全な生育および保育/教育環境について持続可能性の視点から研究し、子どもが生まれ育つ環境を批判的に捉え返しながら、子どもの権利が保障される場を創造する知を身につけている。

4 統合的な学修経験と創造的思考力

人間の個性、生涯発達の過程また環境との関係の中で生じる多様性について総合的に理解することで、子どもの発達に関わる現代的諸課題の解決およびその健やかな発達を保障する教育と心理的支援に貢献できる。

・人文社会学部現代社会学科

1 知識・理解

社会学・社会福祉学・関連社会諸科学を基礎として、持続可能な都市や地域およびグローバル社会について現実を踏まえた構想力を身につけている。

2 汎用的技能

地域社会で現に生起している社会問題群を的確に認識する社会調査の技法と分析能力を備えている。

3 態度・志向性

都市問題や都市政策の実態および課題に対して積極的に学び、自他の人権を尊重する態度の重要性を理解している。

4 統合的な学修経験と創造的思考力

多様性・多元性が高まる社会の中で、違いを認め、格差と差別を乗り越える社会のあり方を学び、地域社会の発展や協働・福祉に貢献できる。

・人文社会学部国際文化学科

1 知識・理解

人文科学・社会科学諸分野の幅広い教養を基礎として、グローバルかつローカルな視座から自文化と異文化の相互関係を深く理解できる。

2 汎用的技能

日本語および英語その他の外国語の実践的な言語コミュニケーション能力を発揮し、プレゼンテーションや情報発信を積極的に行える。

3 態度・志向性

自文化理解および自文化異文化の相互関係の的確な把握を踏まえ、国際社会の持続可能な発展に貢献できる。

4 統合的な学修経験と創造的思考力

人類の文化と社会の特質を多面的かつ批判的に把握し、国際社会の諸課題に対し柔軟で実践的な解決力を身につけている。

・芸術工学部

芸術工学部では、「技術」「感性」「人間理解」を軸に幅広い視野と教養、創造性豊かで高度な知識と技術を身につけ、デザインの理論と実践を通じ持続可能な地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(芸術工学)の学位を授与します。

1 知識・理解

現代社会の諸課題を希望と共感もてるデザインで解決するための「技術」「感性」「人間理解」を軸とした幅広い視野と教養を身につけている。

芸術工学の特色である芸術と工学を融合する学際性と、理論に裏付けられた実践性を理解する能力を身につけている。

2 汎用的技能

芸術の持つ感性と工学で培われた技術を身につけ、芸術工学の理念である人間中心の考え方ができる総合デザイナーを目指す技能を有している。

3 態度・志向性

人々が安心して真に豊かな文化的生活を享受するために必要な人間理解に基づく行動ができる。

4 統合的な学修経験と創造的思考力

構想(Design)から構築(Architecture)までの調和のとれたデザインに関する理論を考え、実践する能力を身につけている。

・看護学部看護学科

看護学部では、「人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献する人材を育成する」という教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士(看護学)の学位を授与します。

1. 知識・理解

(1) 外国語を含め、幅広い教養と専門分野に関する知識を修得している。

(2) 科学的・論理的思考と、安全で質の高い看護を提供するための基礎的能力

を身につけている。

2. 汎用的技能

(1) チーム医療を担う一員として他職種の役割を理解し、協働的關係を築き調整する能力を身につけている。

(2) 様々な情報から健康の社会的側面を多角的に分析し、保健・医療・福祉に対するニーズを個人・地域・地球規模で捉えることができる。

3. 態度・志向性

倫理観に基づいて個人の尊厳や意思を尊重し、看護の探究と看護学の発展につながる学修を継続して行うことができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

基礎的な理論や系統的な知識、豊富な実践的学修経験を基盤として、保健・医療・福祉分野における看護の対象である生活者の QOL の向上にむけた対応を探求するとともに、自らの能力の向上に向けた努力を継続することができる。

・総合生命理学部総合生命理学科

本学部が掲げる教育目標の下、提供する科目を履修する過程で以下に示す能力を身に付けた学生に対し、学士(理学)の学位を授与する。

- 生命科学を中心に理学の基本的な知識を総合的に修得し、その上で各自の専門分野で活躍できる知識と能力を身に付けている。
- 社会人として必要な幅広い視野と教養を身に付けている。
- 未知のものに対する興味を持ち、問題を発見する観察眼と問題を解決する能力を身に付けている。
- グローバルな視野を持ち、実用的なコミュニケーション力を身に付けている。
- 情報を効果的に整理・分析し、効率的に作業を進める能力がある。